



# 新宿山吹だより

都立新宿山吹高等学校通信  
令和7年度第11号  
【令和8年1月8日】

新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

人は何歳で大人になるのか

校長 永浜 裕之

「成人の日」は、「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」という趣旨の国民の祝日です。男性は元服(げんぶく)、女性は裳着(もぎ)の儀式を小正月(旧暦1月15日)に執り行つたため1月15日が成人の日でしたが、平成12(2000)年から変更され、ハッピーマンデー制度により毎年1月の第2月曜日が「成人の日」となりました。

多くの自治体で20歳になった男女を対象に成人式が行われますが、令和4(2022)年に成人年齢が18歳に引き下げられたため、一部の自治体では18歳で成人式を実施するケースも出てきています。

本校にも、18歳を迎えた人が大勢います。おめでとうございます。

18歳で可能になることは、結婚、クレジットカードの作成、10年パスポートの申請、選挙の行使、普通自動車免許証の取得などで、少年法の適用も終了します。ちなみに、飲酒、喫煙、ギャンブルは20歳まで認められていません。

さて、成人の日には市町村等の主催で成人式が行われますが、世界を見渡しても、こういうイベントを全国的に行っている国は日本以外ありません。部族や共同体などで成人になる通過儀礼を維持している国はありますが、役所主催の行事は例がありません。ちなみに私は毎年、全国各地の首長が成人式で何を話すか、興味をもって聞いています。

今回は、かつて杉並区長を務めた山田宏氏が、20歳を迎えた成人に向けた「成人式での挨拶」を紹介します。

「今日は成人式だけれども、成人になるための条件がある。それは2つの感謝だ。1つはね、両親だよ。今の君らを1番喜んでいるのはね。親なんだ、家族なんだ。まず親に感謝してほしい。」

「2つ目。これは目に見えない人に感謝をすること。目に見えない人、知らない人への感謝。これから、靖国神社に納められている『英靈のことの葉(言乃葉)』という、戦死された方の遺書の一通を読みます。20歳(はたち)の人です。

『お父様、お母様。ただいま出撃の命令が出ました。今から元気に行って参ります。長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。本当はもう1度お目にかかるお礼を申し上げたかったけれども、そういうとまがございません。心からお詫び申し上げます。私のリュックサックにはお酒や缶詰が入っています。それらは皆、軍から支給されたものです。いつか家に帰った時、皆と一緒に楽しく食べようと思って残しておいたのですが、今はそのことができなくなりました。どうかこの缶詰を、皆さんで分けて食べてください。自分は今から行って参ります。長い間ありがとうございました。』』

「80年前にも20歳(はたち)がいて、こういう人生もあった。皆はね、この人たちの分まで立派に生きる義務があるんだよ。この人たちが生きられなかつた分まで、大事に人生を生きる義務が皆にはあるんだ。

皆さんは今晚、美味しいものを食べて、美味しいお酒を飲んで乾杯するだろう？ その時には、この人たちのことを思つてね。心の中でそっと『ありがとう』と言って乾杯してほしい。」

会場はシーンとなり、私語1つないそうです。皆、背筋がピーンと伸び、前の方に座っている成人女性の多くは、目頭を抑えています。議員の一部が、「山田区長が成人式で特攻礼賛のあいさつをした」とビラをまくそうですが、成人式後に届くメールを読むと、「そういう人がいたのを知りませんでした」「自分が20年間、いい加減に生きてきたことを恥ずかしく思いました」「これからは、その人たちの分まで立派に生きたいと思います」といった感想が寄せられるそうです。

山田氏は続けます。「皆、同じ日本人なんです。皆、過去と繋がっているんです。先祖の涙も苦しみも、失敗も喜びも皆、私たちのものなんです。全部を背負って、ありがとう、ありがとうございますと言つて歩くことが、日本の将来を作るんです。過去を自分とは関係ないこととして批判するだけでは、日本は良くなりません。今だけ良ければいい。自分に被害が及ばなければいいんだという気持ちが、どんどん私たちの国を住みにくくしています。他人のことを自分のことのように心配するような、背骨の通った、しっかりした国を作り直すことが、今の私たち、日本国民の責任です。」

さて、何歳で大人になるかという問いは、大人の条件をどう定義するかによって変わってきます。肉体的発育ではなく、物心両面からの自立とすれば、日本の18歳、20歳は、過半がまだ条件を満たしているとは言えません。結婚して一人前という考え方や、人の子の親となってこそ大人だとする人もいます。自分の行動に責任を持つだけでなく、他人を思いやれることが大人の条件という人もいます。親が亡くなった後、親の気持ちが分かったという人もいます。なかなか大人になれないのが、今の世の中かもしれません。社会が複雑化するにつれ、自立年齢は年々遅くなるような気がします。

## 第35回山吹祭「全てが想像以上。」～文化祭実行委員の取り組み～

生活指導部担当

12月20日（土）に第35回山吹祭「全てが想像以上。」が開催されました。各出展団体の皆さんはもちろんのこと、実は裏方の文化祭実行委員（文実）の生徒たちも、とても活躍してくれていました。今年度は、68名の生徒が実行委員に参加し、5月から準備を進めてきました。今回はこの場を借りて全6部署での実行委員の頑張りを紹介していきたいと思います。

### <広報部・出展企画部>

皆さんも一度は目にした山吹祭パンフレット。これは、広報部が文書の打ち込みから製本まで丹精込めて作り上げたものです。その総数はなんと2000冊！今年度はクイズラリー企画も実施し、お客様が山吹祭をより楽しめるよう工夫しました。また、各出展団体への物品貸出や机椅子の移動を行っていたのが出展会場部です。各団体の準備がうまく進むよう陰から手助けを行いました。



### <美術装飾部・ステージ企画部>

美術装飾部は、テーマに合わせた校内の装飾を行いました。特に風船をつなぎ合わせて作ったエントランス装飾は、山吹祭の明るい雰囲気を作ってくれましたね。山吹祭前日の校内祭や当日のステージ発表を盛り上げてくれたのは、ステージ企画部です。実はこのステージ（舞台）も実行委員で組み立てているのです！発表中の司会はもちろん、校内祭でのbingo大会など、参加者の皆さんに楽しんでもらえるように工夫しながら頑張りました。

### <食品部・会計部>

今年も大盛況の食品販売。食品部は各調理団体のサポートを行い、スムーズに食品提供が進むよう手助けを行いました。どの調理団体も人気で、無事に完売しました！また、販売団体が使用した金券は、会計部で作成したものです。当日は販売個数の把握やお金の管理もフォローし、販売促進のお手伝いをしました。



### <実行委員の感想紹介・担当より>



各々が全力を尽くし、しっかりと文化祭を運営することができた。／前日準備も当日も、運営側としても来場者としても楽しめた。／友達と色々なものを見たり体験したりできた。／来年はもっといい文化祭が作れる気がした。／一つ一つの仕事に達成感があった。／違う部署も体験したいので、来年もやります！／来年も誰かの役に立ちたい。／最高なものをつくれたと思う。／友達が増えたことがうれしかった。やって良かったです。

文実の皆さん、約8か月間、本当にお疲れ様でした！これを読んで文化祭実行委員が気になった人は、ぜひ来年度挑戦してみてください！

今年度も多くの方にご協力いただき、山吹祭は無事に終了しました！ありがとうございました。

#### 定時制課程 学校行事予定

- 1月 8日(木) 授業開始、避難訓練
- 9日(金) 自己探索学習⑧
- 12日(月) 成人の日
- 17日(土) 大学入学共通テスト
- 18日(日) 大学入学共通テスト
- 23日(金) 午前授業、午後、推薦入選準備
- 26日(月) 情報科推薦による入学者選抜(生徒登校禁止)

#### 通信制課程 学校行事予定

- 1月 10日(土) 後期スクーリング 2-11
- 17日(土) 後期スクーリング2-12/大学入学共通テスト
- 18日(日) 大学入学共通テスト
- 24日(土) ※ 生徒登校禁止(入選対応のため)